

市町村名

中富良野町

取組と目標に対する自己評価シート

年度

令和2年度

前期（中間見直し）

実施内容

自己評価結果

課題と対応策

後期（実績評価）

実施内容

① 介護認定率	3月末現在	18.4%
② 特定健診受診率	3月末現在	54.7%
③ 特定保健指導実施率	3月末現在	72.6%

自己評価結果 【 ◎ 】

介護認定者の有病状況と原因疾患の分析より、生活習慣病の重症化が背景にあることが明らかになったため、令和2年度より高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施において、KDB等を活用して医療・介護・健診の一体的分析を行い、関係機関で課題の共有を行った。また保健事業と介護予防事業を一体的に実施し、生活習慣病の重症化予防及び介護の重度化防止に努めた。特定健診の受診率は新型コロナウイルス感染症の影響で低下が見られたが、特定健診・特定保健指導対象者のみならず、後期高齢者にも生活習慣病の重症化予防の保健事業を継続して実施することで、未受診者を適切な医療に繋げたり、通いの場においても介護予防の啓発を行う事ができた。

課題と対応策

高齢化率が著しく上昇しており、第8期介護保険計画においても介護認定率は上昇が見込まれている。これらのことから、生活習慣病の重症化予防及び介護の重度化防止を、令和3年度も高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施を通して行う。

取組と目標に対する自己評価シート

年度

令和2年度

前期（中間見直し）

実施内容

① 介護予防普及啓発事業	9月末現在	46人
② 地域介護予防活動支援事業	9月末現在	0人
③ 地域リハビリテーション活動支援事業	9月末現在	151人
④ 認知症予防教室	9月末現在	11人
⑤ 体力向上運動教室	9月末現在	0人

自己評価結果【△】

- ・前期においては、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため事業実施を中止・延期をしたため①～⑤の全ての目標において目標値を下回っている。
- ・特に、②の事業においては三密となるサロン事業のため、年度を通して事業中止としている。

課題と対応策

新型コロナウイルス感染症予防のため、新しい生活様式スタイルに合わせて事業を展開が必要と考えており、オンラインでの運動教室の実施やリアルタイム配信など、自宅にしながら介護予防ができる取組について検討を行う。

後期（実績評価）

実施内容

① 介護予防普及啓発事業	3月末現在	261人
② 地域介護予防活動支援事業	3月末現在	0人
③ 地域リハビリテーション活動支援事業	3月末現在	568人
④ 認知症予防教室	3月末現在	11人
⑤ 体力向上運動教室	3月末現在	24人

自己評価結果【◎】

- ・後期においても、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため事業実施を中止・延期をしたため①④⑤については目標値を下回っている。③についてはリハビリ体操指導が養成されたことにより地域で活動が広がり、事業利用者が増え、目標値を大幅に上回る事ができた。
- ・特に、②の事業においては不特定多数が集うサロン事業のため、年度を通して事業中止としている。

課題と対応策

今後も新型コロナウイルス感染症予防に十分配慮した、新しい生活様式スタイルに合わせた事業を展開する必要がある。また、自立支援・介護予防・重度化防止のため、効率よく効果的な事業内容を展開できるよう、PDCAサイクルに基づき随時事業内容を見直し・検討を行う。

市町村名

中富良野町

取組と目標に対する自己評価シート

年度

令和2年度

前期（中間見直し）

実施内容

① 要介護認定の適正化	9月末現在	115件
② 住宅改修の点検	9月末現在	0件
③ 医療情報との突号	9月末現在	0件
④ 縦覧点検	9月末現在	0件

自己評価結果【 △ 】

- ①については申請時において内容確認を実施している。
②について前期は未実施。
③及び④については国保連合会等の情報を活用し、後期に点検を行う予定。

課題と対応策

- ・ 要介護認定の適正化、住宅改修の点検については、内容の検討が必要。
- ・ 医療情報との突号及び縦覧点検については、昨年同様今後も確認・点検を実施する。

後期（実績評価）

実施内容

① 要介護認定の適正化	3月末現在	230件
② 住宅改修の点検	3月末現在	1件
③ 医療情報との突号	3月末現在	12件
④ 縦覧点検	3月末現在	12件

自己評価結果【 ○ 】

- ・ ①については申請時において内容確認を実施している。
- ・ ②について後期は1件実施。昨年より2件の減少している。
- ・ ③及び④については国保連合会等の情報を活用し実施している。

課題と対応策

- ・ 要介護認定の適正化、住宅改修の点検については、今後も内容の検討が必要。
- ・ 医療情報との突号及び縦覧点検については、今後も確認・点検を行う。

市町村名

中富良野町

取組と目標に対する自己評価シート

年度

令和2年度

前期（中間見直し）

実施内容

① 地域包括支援センター総合相談件数	9月末現在	293件
② 配食サービス利用者数	9月末現在	51人
③ 在宅介護手当支給事業対象者数	9月末現在	13人
④ 寝たきり老人等おむつ購入費助成事業対象者数	9月末現在	65人
⑤ 会食サービス利用者数	9月末現在	30人
⑥ 緊急通報用電話機設置件数	9月末現在	164件

自己評価結果【△】

- ・①の相談件数については、新型コロナウイルスの影響により来庁による相談件数が減少したことが考えられる。
- ・②について、前年度よりは利用人数増加しているが当初の目標値は下回っている。
- ・③については、目標値をわずかに上回り、④については減少傾向となっている。在宅介護の傾向が強まっているがおむつ使用者は減少している。
- ・⑤については、新型コロナウイルスの影響により事業の延期や外出控えがあったことにより目標値を下回っている。
- ・⑥については、世帯構成員の変化や設置者の死亡等の理由による伸びてはいない。

課題と対応策

- ・電話相談の対応についての周知と、町の実情を把握し各事業の周知徹底を行う。積極的な介入をおこない、潜在的に助けを必要としている層にアプローチを図る。

後期（実績評価）

実施内容

① 地域包括支援センター総合相談件数	3月末現在	598件
② 配食サービス利用者数	3月末現在	66人
③ 在宅介護手当支給事業対象者数	3月末現在	16人
④ 寝たきり老人等おむつ購入費助成事業対象者数	3月末現在	67人
⑤ 会食サービス利用者数	3月末現在	33人
⑥ 緊急通報用電話機設置件数	3月末現在	164件

自己評価結果【 ○ 】

- ・ 中間見直し時の結果と同様の評価となっている。
- ・ 新型コロナウイルスの影響により伸びていない数値もあるが、全体的に目標値を下回る結果となっている。

課題と対応策

- ・ 事業周知の見直しを図り、幅広く事業を知ってもらう取り組みが必要となってくる。また、新型コロナウイルス感染予防を徹底した上での事業展開を図り、柔軟な取り組みを推進したい。

取組と目標に対する自己評価シート

年度	令和2年度
----	-------

前期（中間見直し）

実施内容

①	保健福祉総合推進委員会開催回数	9月末現在	1回
②	地域ケア会議開催回数	9月末現在	4回
③	地域ケア推進会議開催回数	9月末現在	1回
④	ファーストオレンジチーム検討会開催回数	9月末現在	0回
⑤	ファーストオレンジチーム員会議開催回数	9月末現在	0回
⑥	認知症地域支援推進員配置数	9月末現在	1人
⑦	認知症講演会開催回数	9月末現在	0回
⑧	認知症サポート医登録数	9月末現在	1人
⑨	キャラバンメイト登録者数	9月末現在	14人
⑩	認知症サポーター養成講座開催回数	9月末現在	0回
	認知症サポーター養成講座参加者数	9月末現在	0人
	認知症サポーター延人数	9月末現在	543人
⑪	劇団ぼぼまる派遣回数	9月末現在	0回
⑫	生活支援コーディネーター報告会議開催回数	9月末現在	0回
⑬	生活支援コーディネーターの配置人数	9月末現在	2人
⑭	協議体の開催回数	9月末現在	0回
	協議体の設置数	9月末現在	1組織
⑮	富良野圏域他職種連携協議会への参加	9月末現在	0回

自己評価結果【 △ 】

- ・新型コロナウイルスの影響により、目標としている取組のほとんどを中止、延期としているため目標値を大きく下回っている。
- ・人員育成においても研修会等の中止により目標とする人員配置を行えていない。

課題と対応策

- ・地域包括ケア推進のため、関係機関とも調整し新しい生活様式に合わせた事業展開を図り、リモートによる研修会や各種委員会、養成講座の実施を検討し、柔軟に取組を推進したい。

後期（実績評価）

実施内容		
① 保健福祉総合推進委員会開催回数	3月末現在	3回
② 地域ケア会議開催回数	3月末現在	9回
③ 地域ケア推進会議開催回数	3月末現在	2回
④ ファーストオレンジチーム検討会開催回数	3月末現在	0回
⑤ ファーストオレンジチーム員会議開催回数	3月末現在	1回
⑥ 認知症地域支援推進員配置数	3月末現在	1人
⑦ 認知症講演会開催回数	3月末現在	0回
⑧ 認知症サポート医登録数	3月末現在	1人
⑨ キャラバンメイト登録者数	3月末現在	14人
⑩ 認知症サポーター養成講座開催回数	3月末現在	0回
認知症サポーター養成講座参加者数	3月末現在	0人
認知症サポーター延人数	3月末現在	543人
⑪ 劇団ぽぽまる派遣回数	3月末現在	0回
⑫ 生活支援コーディネーター報告会議開催回数	3月末現在	2回
⑬ 生活支援コーディネーターの配置人数	3月末現在	2人
⑭ 協議体の開催回数	3月末現在	2回
協議体の設置数	3月末現在	1組織
⑮ 富良野圏域他職種連携協議会への参加	3月末現在	1回
自己評価結果【○】		
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、目標としている取組の一部を中止、延期としているため目標値を下回るものもある。 ・人員育成においても研修会等の中止により目標とする人員配置を行えていない。 		
課題と対応策		
<p>今後も新型コロナウイルス感染症予防のため予定通り事業を実施できない事も予想されることから、リモート会議等の実施を検討する。また、限られた会議等の機会の中で、目的目標が達成できるよう、効率良く効果的な地域包括ケアシステムの展開と充実が必要である。</p>		